

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 19 日

評価対象事業		評価者	高齢者いきいき課担当課長 小宮 純		
健福-23	実施事業	在宅福祉サービスセンター管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	高齢者いきいき課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	地域生活の支援サービス	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	快適な施設の環境の保持を図るため。
効果	在宅福祉サービスセンター利用者の利便性向上

2 平成28年度に実施した事業の概要

<p>地域の高齢者の介護に関する業務を行う二階堂、御成町、台在宅福祉サービスセンターの維持管理を行った。</p>
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		データ区分	29年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	40,254	35,857	当初予算(千円)	44,924			
	国県支出金			国県支出金				
	地方債			地方債				
	その他	13,406	13,293	その他	15,390			
	一般財源	26,848	22,564	一般財源	29,534			
	人員配置数	1.2	1.2	人員配置数	1.3			
事業経費運営	人件費(千円)	9,391	9,384	人件費(千円)	10,292			
	総事業費(千円)	49,645	45,241	総事業費(千円)	55,216			
	市民1人当りの経費(円)	280	256	市民1人当りの経費(円)	313			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	4. 市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	<input type="radio"/> 負担導入済 <input type="radio"/> 2. 適正な受益者負担を導入している
		<input type="radio"/> 2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	<input type="radio"/> 協働実施済
		協働実施済の場合のパートナー 鎌倉市高齢者給食サービスグループ連絡協議会

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	御成町、台在宅福祉サービスセンターの活用方法の変更。今後、所管課を含め、あり方を検討する。
	<input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input checked="" type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	御成町、台在宅福祉サービスセンターの活用方法の変更に伴い、予算規模は今後縮小する見込みである。		
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input checked="" type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	御成町在宅福祉サービスセンターは、デイサービス事業を近隣の福祉センターで行っているデイサービス事業と統合することにより、事業の効率化を図ることとなったため、平成29年度中に、空いたスペースを当市の喫緊の課題である待機児童の解消のため活用する。台在宅福祉サービスセンターについても、施設の一部の活用方法変更について検討する。
-------------------	---

平成28年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	施設整備の経年劣化により、管理運営面での修繕に係る割合が大きくなっている。	
課題解決のために行った平成28年度の取組	公共建築物の定期点検の結果に基づき、計画的な修繕の実施に努めると共に、部品の交換時期などにも速やかに対応した。 御成町在宅福祉サービスセンターの保育課への所管替、及びそれに伴う手続きの準備をした。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	施設整備の経年劣化により、管理運営面での修繕に係る割合が大きくなっている。 御成町、台在宅福祉サービスセンターの活用方法の変更を進める。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名									
他市実績									
比較事項									
団体名									
他市実績									
比較事項									
団体名									
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方							